

2017年度 社会連携研究プロジェクト活動報告書

2018年 4月26日

和光大学地域連携研究センター
センター長 小林 猛 久 殿

代表者氏名 小林猛久

研究プロジェクトの名称 大学・企業相互関与型の地域密着人材育成システムの構築と実践				(2年目)
研究目的 大学と地域と行政が連携して人材育成と地域活性化を推進するプロジェクトを支援する組織の確立を目指し、 [1]「連携プロジェクトスタートアップの研究と実践」、[2]「連携プロジェクトの継続・常設化を実現する研究」を 行うとともにその客観的な評価と成果に関する公表を通じて、具体的な実践事例を全学的な地域連携モデル として伝播をしようとするものである。				
プロジェクト所属メンバー (氏名の右の欄に、本学専任教員=教、共同研究員=共と記入してください。)				
岩本陽児	教	山田 貢	共	
倉方雅行	教			
堂前雅史	教			

研究活動の経過 (800字以内) (打ち合わせ、報告、招待講演、調査旅行などの月日、テーマ、報告者、目的地などを記入してください。)

2017年9月24日(日)しんゆり北口マルシェ
万福寺人参を使用した、ドーナッツの試験販売を実施、ハーバリウムワークショップ開催

2017年11月5日(日)しんゆり北口マルシェ参加
万福寺人参を使用した、ドーナッツの試験販売を実施
学生が、アトランティックジャイアントを栽培・収穫し、パティスリーエチエンヌさんにジャックオーランタンを製作頂き、ハロウィーン飾りとした。

2017年11月25日(土) しんゆりマルシェ参加
サツマイモを使用した、ドーナッツの試験販売を実施

ドーナッツの製造は、パティスリーエチエンヌさんに依頼。
万福寺人参、サツマイモは 学生が栽培、収穫し、ピュアにした。また、ラベルデザイン、パッケージ、販売、各種専門家への協力依頼などを学生が担当。

2017年12月23日(土) 万福寺人参品評会参加 (主催：里山フォーラムin麻生/麻生区生涯学習支援課)
参加学生5名

毎月、第1金曜日の18:30から20:00
和光大学と岡上地域の発展や教育などの連携に関する相談会を開催。
研究担当者以外にも、適宜岡上地域の住民の方と情報交換を行った。

研究成果の概要（1200字程度）（どのような方法で調査、研究を行ない、どのような新知見が得られたか。またそれを今後どのように活かすことができるか、など）

共通教養科目「地域デザイン」を2015年に新設し、地域の農業生産法人との連携による社会と教育現場が融合した人材育成システムの構築や地域活性化へ貢献するシステムを構築し、地域の特産品である禅寺丸柿を使った果実酒や万福寺人参を使ったエール（発泡酒）といった新商品の開発・生産・販売といった実体験型学習の実現することにより、学生の学習意欲の向上や地域経済の活性化の有効性を大きく示すとともに、結果的にその経験から地域企業に就職した学生もあり、地域に若者を根付かせる事例ともなった。

結果として、本プロジェクトにより、地域産業である農業の6次産業化への貢献、関連産業への学生の就職、授業（地域デザイン）履修者の増大などの具体的な成果を残すことができた。

さらに、本成果については、2017年6月2日に麻生区 北沢区長様を訪問した際に、「麻生区にかかわりの深い大学の学生さんが、地域の特性を理解し、それを活かすために地域の方と協働しておられることが、この上なく嬉しく感じました。」とお言葉を頂き、今後も活動を発展、継続して欲しいとご期待を頂いた。

また、JA セレサ川崎 セレサモス麻生店では、7月より岡上エールを常設販売して頂いているが、継続的に売り上げがあり、「和光大学と地域の企業が共同して地元農産品を活用した商品の開発・販売を実現していることは地域経済の活性化に大いに役立つ。今後の量産化や多品種化を待っている」と大きな期待を寄せてくれている。そして、この岡上エールの活動については9月3日（日）に、J-WAVE（FMラジオ番組）の「WONDER VISION」という番組内「TOKYO SOCIAL MAP」というコーナーで取り上げられ、本活動への注目度の高まりを実感した。<http://www.j-wave.co.jp/original/wondervision/listen/1611.html>

最後に、本活動の成果を踏まえて、新百合ヶ丘の北口商店街からのイベント共同運営依頼や鶴川地区協議会からの小学生の学習支援やハロウィンパレードの企画・運営支援を始めとして、多数の依頼が寄せられているので、地域デザインの授業を基盤とした地域連携・人材育成プロジェクトを発展させ、全学的なシステムとして構築し、それを恒常化させるプロジェクトに発展させることにより、和光大学の魅力増大や地域貢献活動の活発化を進めたいと考えている。

成果の発表文献（標題、著者名、雑誌名、巻号頁、発行年等）

（発行年は厳密に2017年4月～2018年3月に刊行されたものだけに限らず若干前後のものも含めてください）

- ※ 提出期限=2018年4月27日（金） 提出先=企画室企画係（奥名・岡本）
- ※ 用紙が足りない場合は別紙を添付してください。
- ※ できるだけこのデータに入力いただき、e-mailで送信してください。
- ※ kikaku@wako.ac.jp（企画係）